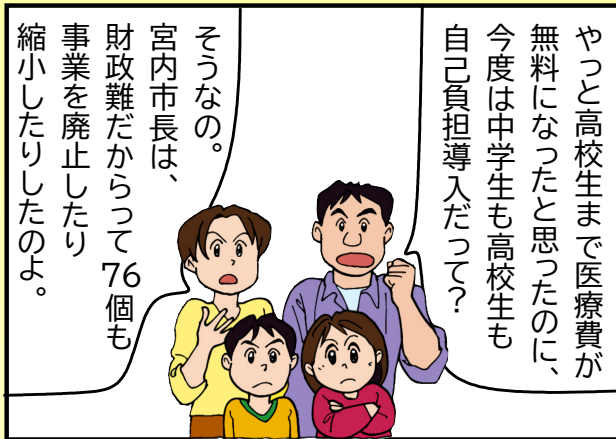


「安心と希望の持てる匝瑳市」をご一緒に

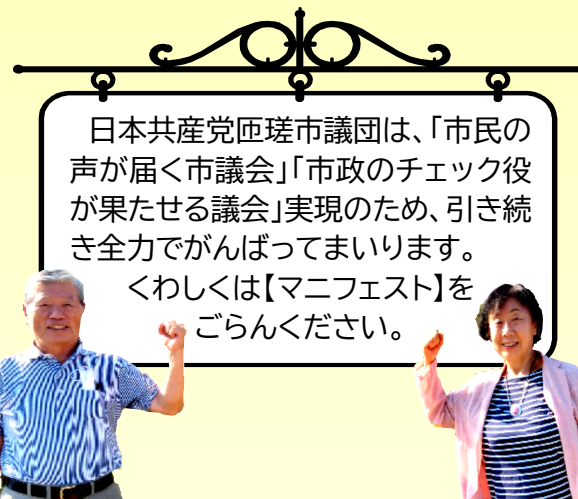
日本共産党
Japanese Communist Party

今の市政、お金がないのではなく、
市民のくらし・福祉を思う心がないのでは…。



令和7年度決算では、10億円を超える剰余金が生かれています。基金の積み立ても普通預金で約7億8600万円。
ところが宮内市長は、財政難だと言って76もの事業休・廃止、縮小を打ち出しました。

難病療養者の給付金廃止や高齢者タクシー利用助成の減額、中・高生の医療費自己負担導入などの削減効果は8300万円ほど。
何のための歳出削減なのか…。



夢と希望の6つの提案

匝瑳市民病院の拡充と 野栄に診療所の開設を



◎子育て支援のためにも小児科・産婦人科の復活を！

◎医療過疎地域の野栄に市立の「のさか診療所(仮称)」の開設を。



高すぎる国保税を減免し 子どもの均等割り無料化を！

◎未就学児を対象に国が一律で実施している「国保税均等割軽減措置」を、匝瑳市独自に高校卒業まで拡大を。
さらに「無料化」を実現し、子育て支援で移住・定住の促進に！

◎高すぎる国保税、市独自の減免を。

避難所となる学校体育館に エアコン設置とトイレ洋式化

米価下落対策、市独自に 1kgあたり10円の助成を

学校給食費の恒久的無償化

今年度実施している市独自の幼稚園と中学校の給食費無償化を来年度以降も。

野栄総合支所の業務縮小を 撤回し、機能集約で拡充を

宮内市長は、選挙の時に「総合支所を拡充する」と約束していましたが、財政難を理由に突然「野栄総合支所の窓口業務を…証明書の発行業務のみとする」と表明しました。(令和8年6月定例会)
多くの市の機能が分散している野栄地域。総合支所を拡充し、地域振興の拠点にすべきではないでしょうか。

くらし・平和・人権 みなさんの願いにこたえます

「力の支配」にNO! 反戦平和を貫いて104年「日本共産党」

Tax the Rich(タックス ザ リッチ)
——富める者に課税を

消費税は廃止をめざし今すぐ5%に

物価高騰を上まわる大幅賃上げを

大企業や大株主への富の一極集中をただし、中小企業への直接支援で賃金を上げ社会保障を支えます。

アメリカ言いなりをやめ外交で
平和をつくる日本へチェンジ

トランプ米政権とイスラエルはイランに先制攻撃をしました。最高責任者を殺害するだけでなく、小学校や医療施設など、民間施設もミサイルで破壊してしまいました。多くの子どもや市民を犠牲にすることなど、到底許されるものではありません。憲法9条を持つ日本の首相として、高市総理は米政府に攻撃中止を求めるべきです。

一人ひとりの人権、個人の
尊厳が大切にされる社会に

ジェンダー平等社会の推進

子どもの権利条約に基づく保障

選択的夫婦別姓を実現し、同性婚を認める民法改正を行います。男女の賃金格差や正規・非正規間の差別をなくします。

政治の闇と腐敗をただす

自民党と統一協会の関係解明

衆院比例定数削減は許さない

統一協会との関係や裏金事件の真相を解明し、企業・団体献金の禁止、政党助成金の廃止を実現します。また、民主主義の根幹を否定する議員定数削減は許しません。